

令和6年度 学生による自己点検・自己評価の結果概要

1 学生による自己点検・自己評価の取り組みの経過

昨年度より学生による学校運営の評価を実施している。評価結果は今後の学校運営に活かしたい。

2 学生による自己点検・自己評価結果

評価項目	R6 年度	R5 年度
I 教育理念・目的・目標	3.34	3.44
II 教育課程	3.41	3.36
III 教育活動	3.33	3.24
IV 経営管理	3.30	3.18
V 入学	3.37	3.31
VI 卒業就業	3.37	3.22
VII 地域社会	3.29	3.29
平均	3.35	3.29



- 86%の学生がアンケートに回答した。
- I 教育理念・目的・目標、II 教育課程は高得点であった。カリキュラムは学生にわかりやすく、浸透していることが評価として表れた。実習施設や指導、実習での体験についても概ね満足していることがわかる。
- III 教育活動の評価はやや低値となった。特に時間割の変更が多かったことは課題であるキャリアデザインの目的に沿った方法を検討する必要がある。
- IV 経営管理の評価点は低値である。校舎の老朽化は改善が難しいが、日頃の点検や可能な範囲での修繕を進めていきたい。教材の整備、健康管理室の整備を行い評価も上昇した。
- V 入学は評価点が高く、広報活動やオープンキャンパスに学生の協力も得ていることが評価につながった。
- VI 卒業・就職・進学はやや評価点が上がった。低学年からの国試対策、卒業生との交流の効果と考える。

- VII社会貢献はフィールドワークやボランティアを行った結果が表れ、1・2年生の評価が高かった。

4 今後に向けて

令和6年度の学生による自己点検・自己評価の結果を受け、令和7年度は次の取り組みを行う。

- ① カリキュラム評価を行い、より良い教育に向けて検討を重ねる。
- ② 効果的な学習となるように時間割を組み、学習を支援する。
- ③ 校内の設備、教材の点検・整備を行い、適切な学習環境を整える。
- ④ ディプロマポリシーの達成に向けたシステムを構築する。